

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕  
令和 6 年度業務報告及び収支決算  
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

## 1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番地 3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m <sup>2</sup> 延床面積 7,899 m <sup>2</sup> ／専有面積 1,975 m <sup>2</sup>
開館日	平成 17 年 10 月 29 日

## 2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

## 3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

## (1) 基本的な方針 (第 4 期指定管理提案、令和 6 年度事業計画より)

## 【総合的な方針】

横浜市とのパートナーシップのもと横浜の文化政策を推進していきます。多様化が進む横浜市北部地域に住む人々の共生社会実現に向け、誰もが社会に参画できる場、担い手として活躍できる場づくり、世代間交流や異文化交流を促し、市民がこの地で暮らす喜びと、活力のある地域作りを目指します。

東京都心等からの交通の利便性が高い好条件を活かし、市の施策でも求められている横浜のプレゼンス向上につながる発信力の高い事業、都心臨海部と連携した賑わいづくりを行います。コロナウイルス感染症との共存が日常となる中、感染症対策に引き続き取り組みます。

## 1 誰もが文化に触れる機会を提供

- ・当館では、今まで子どもを対象とした事業を多数展開してきており、参加者は増加傾向です。近年は外国人の親子の参加も見られ、より多様な方々への発信が求められています。外国語対応等、発信方法や発信先、運営方法を工夫し、誰もが参加できる事業を目指します。
- ・福祉団体と連携した事業や障がいがある方と楽しむ鑑賞会等、社会包摂の視点を重視した事業を実施してきたノウハウを活かし、高齢者等を対象とした事業にも着手します。

## 2 横浜の都市の魅力向上と賑わいづくりへ貢献

- ・開館以来、保存・調査研究に取り組んできた「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を、今後も市外との連携を視野に入れ、積極的に活用します。
- ・各種事業においては、市外からの来場者も多くあり、高い評価を得ています。現代アートや写真をテーマとした企画展では、アーティストや鑑賞者同士の対話を深めるプログラム等を開催し、理解をより深めていただけるような機会を設けます。
- ・横浜トリエンナーレをはじめとする横浜芸術アクション事業（ダンス、音楽）等の関連事業を実施し、横浜全体の魅力づくり、賑わいづくりに貢献します。

- 3 地域コミュニティの抱える課題へのアプローチ、地域資源の有機的な関係性づくり
- ・男女共同参画センター横浜北との連携により、女性の社会進出や LGBTQ に関わるテーマも取り上げた事業を開催する等、地域や社会の課題に気づく機会をさらに創出していきます。
  - ・文化芸術の領域を超えた地域資源紹介や北部地域の文化施設、国際交流拠点、大学、企業等との連携を更に拡大します。
  - ・当館の活動を支援する市民ボランティアの世代間交流や文化芸術振興の担い手としての活動の場を充実させていきます。
- 4 市民の皆さんに親しまれる施設に。安全で快適な施設に
- ・利用者の高齢化等を見据え、利用サポートの新たなメニューを充実させます。

## (2)令和6年度の業務の方針

### 【全体業務について】

第4期指定管理期間の最終年度にあたり、提案に掲げた「6つの使命」および財団で策定する「中期経営計画」に沿った事業の仕上げを図りました。新型コロナウイルス感染症後の社会情勢や環境を鑑み、事業実施の手法を検討し、使命に沿った運営を行いました。

「使命1」誰もが普段着をまとうように、文化芸術がより身近なものとなることで、多様な価値観との出会いが生まれ尊重し合う地域社会の醸成につなげます。

子どもが年齢に応じて楽しめ、障がいがある子が無理なく楽しく参加できるプログラムを継続して実施しました。また、令和4年度からスタートした北部4区を中心とした在住外国人ファミリー向けの造形活動や、認知症をキーワードにした地域の高齢者の方々との鑑賞会など、地域で生活するさまざまな年代・属性の方が文化芸術に親しむことのできる機会を設けました。

「使命2」「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を軸に、写真をはじめとする映像分野・現代アートの拠点としての発信力を高め、また市民の文化芸術活動では多様な技法や分野に触れる機会を講座として提供します。

写真をテーマにした企画展や、同時代性を有するアートを紹介する展覧会を開催しました。また、館内のオープンスペースを活用した2種類のミニ展示の開催や、アニメーション・ワークショップの実施、小学校でのカメラのワークショップ、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションのデータベース構築に継続して取り組みました。また「市民のためのプログラム」では、様々なジャンルの講座を用意しました。

「使命3」文化芸術の力を活かし、市民が自ら課題に気づき考えを深める契機を創出します。地域の課題にとともに向き合う人の輪を広げます。

アートフォーラムあざみ野を共同運営する男女共同参画センター横浜北を始め、地域の課題に向き合って活動する団体と積極的につながりを構築しました。令和4年度から始まった「認知症の方と家族のための対話型鑑賞会」の取り組みを継続、深化させ、またフェローアート・ギャラリーやフェローマルシェのほか、男女共同参画センター横浜北との連携事業を開催するなど、当施設の立地や地域性を活かした地域のつながり、人の集いで生まれる関係を、文化芸術を介して生み出しました。

「使命4」文化芸術を媒介に北部地域の様々な公共施設、教育機関、市民団体、企業、自治会等が相互につながり合う取り組みを進め、協働から地域の活力を生み出します。

令和6年度は使命3の取り組みの広がりを通じて、使命4を進めました。また近隣の文化施設と定期的に情報交換を行い、展示のアウトリーチ事業や当館での講座プログラムを進めるなど行いました。また地元の音響メーカーと連携した講座も開催しました。令和3年度から参画する「よこはま縁むすび講中」が「地域再生大賞」を受賞し、第4期指定管理の取り組みの成果が認められました。

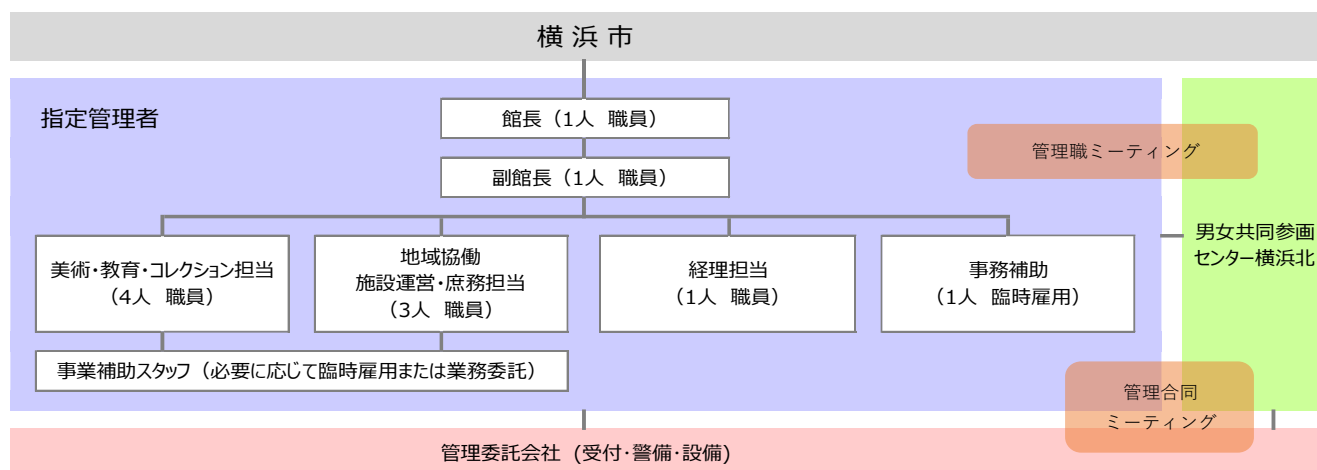
「使命 5」「次も使いたい」「また来たい」施設になるよう、ホスピタリティあふれるコミュニケーションを心がけ、アンケートやヒアリングなどより広くご意見を集め運営に活かします。

アンケートによる利用者ニーズの把握、専門性の高い貸館のサポートを行い、利用者の満足度を高めることにより、リピーターを増やし、貸館利用率の維持に努めました。また高齢化が進む利用者の安全に配慮した展示計画のアドバイスも行いました。どのような状況でも利用者が安心できるような施設運営を実施しました。

「使命 6」適切な施設の維持管理を行い、安心・安全で快適な場を提供します。

センター横浜北及び設備管理や警備・清掃を担当する西田装美との定期的な情報交換を行い日常の環境維持に努めました。開館 19 年目を迎え、施設の劣化、不具合が頻発していましたが、対応・修繕しました。また当施設は青葉区帰宅困難者一時滞在施設に指定されており、男女共同参画センター横浜北と共に防災訓練等で防災意識と対応力を備えました。横浜市所蔵カメラ・写真コレクションについては、良好な状態で次代に引き継ぐよう、修復を行うなど、最適な管理を行いながら、市民への公開を進めました。

#### 4 運営組織の構造、人員配置



統括責任者である館長、それを補佐する副館長の下に、横浜市芸術文化振興財団の職員（一部業務委託を含む）が、各業務にあたりました。合築施設として男女共同参画センター横浜北と協調、協力しながら施設運営を行い、警備、設備保守等の施設管理は外部会社に委託しました。

## 5 使命の重点取り組み事項と指標の達成状況

令和6年度は、第4期指定管理提案の最終年度として総仕上げをしながら、次期提案につなげることを見出した一年でした。第4期指定管理期間を通して達成状況を見た場合、初年度に新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言があり、当初予定していた内容を狙い通りに実現できないところから始まりました。困難な状況のなか、提案期間中は市や地域の協力を得ながら様々な工夫を凝らして事業継続をはかり、最後にいくつかの成果を生むことができました。

### 〈令和6年度の主な成果〉

- ・認知症、高齢者の美術鑑賞プログラムにおいて、来館を前提とした企画に加え、当館から福祉施設へのスタッフが出張する講座（4か所）を始めました。これにより当事者の参加者数を増やすことができました。結果、何歳になっても、施設に通いながらも美術を鑑賞する喜び、誰かと一緒に話ししながら観る楽しさ、これらを楽しむ環境づくりに寄与できました。
- ・子ども対象とした自主企画で延べ6,685名の子どもたちが参加し、ワークショップや展覧会での造形、鑑賞の体験を通じて心を育む機会をつくりました。
- ・第4期指定管理期間で地域の22の団体と結びつき、令和6年度はその全ての団体と協働して企画を実施しました。文化芸術を介したネットワークが構築されつつあります。
- ・横浜市カメラ写真コレクションの研究が進み、これを通じて国内外の同様の研究を行う拠点とのつながりが広がり、展覧会でその成果を発表、多くの方にご覧いただきました。
- ・批評や地域リサーチといった、これまでにはない分野の講座を実施し、芸術へ接する機会を多様にしました。
- ・海外でも評価されるアーティストを迎え、質の高い展覧会を多くの市民の方にお楽しみいただきました。
- ・新型コロナウイルス以降、回復途上にあった展示室の利用率が100%近くまで回復しました。

- (1) 使命 1 横浜市北部地域の子どものや高齢者、障害者、外国人、様々な経済事情にある方、性別にかかわらず幅広い属性の方へ、社会的包摂の視点を踏まえ、美術を中心とした文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むとともに、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

#### ア) 高齢者が文化芸術活動に参加し担い手となる取り組み

年度	内容	地域の連携先	参加人数
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大、緊急事態宣言、地域コミュニティの危機	—	—
令和3年度	「認知症の人にやさしい街プロジェクト」実行委員会会議が地域で開催されるようになり当館も参加。施設をご利用いただきながら、地域ケアプラザや若年性認知症施設などの福祉拠点や住民の方のお話を伺う。文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」応募	1団体 やさしい街あざみ野実行委員会	—
令和4年度	文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」採択。①「見ル 聞ク 感ジル みんなの対話型鑑賞会」の開催にあわせて専門家による講座②「いくつになっても楽しめるアトスペースを考える ～高齢者・認知症の方とご家族のための、心に	3団体 やさしい街あざみ野実行委員会、荏田地域ケアプラザ、GrASP (若年性認知症	135名 ①2回で57名 *認知症の方10名を含む ②2回で56名 ③22名

	も体にもいい Creative Ageing〜」、③ファシリテーター養成研修会を実施。	対象施設)	
令和5年度	文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」採択。①「アート+認知症 やさしい美術鑑賞会」とあわせて、②取組紹介&美術鑑賞体験会、専門家による講座③「認知症の基礎知識とコミュニケーション」④「健康で幸せ（ウェルビーイング）によるアートの活動」⑤サポーター養成研修を実施。	4団体 やさしい街あざみ野実行委員会、荏田地域ケアプラザ、GrASP（若年性認知症対象施設）、ゆい青葉	156名 ①2回で76名 *高齢者や認知症の方32名を含む ②15名 ③24名 ④24名 ⑤17名
令和6年度	文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」採択。①「アート+認知症 やさしい美術鑑賞会」とあわせて専門家による講座②「健康に良いクリエイティブな体験と『文化的処方』」、③「優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード」、④サポーター養成研修、アウトリーチ（いつもの場所で）やさしい美術鑑賞会を開催。⑤荏田地域ケアプラザ、⑥GrASP（若年性認知症対象施設）、⑦ゆい青葉、⑧グランダあざみ野	5団体 やさしい街あざみ野実行委員会、荏田地域ケアプラザ、GrASP（若年性認知症対象施設）、ゆい青葉、グランダあざみ野	246名 ①2回で61名 *認知症の方15名を含む ②25名 ③38名 ④23名 ⑤27名 ⑥24名 ⑦22名 ⑧26名 *⑤～⑧は高齢者認知症対象

イ) 在住外国人の方々が来館しやすい仕組みを充実

年度	内容	地域の連携先	参加人数
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大、緊急事態宣言	—	—
令和3年度	親子のフリーゾーンを外国人親子向けに非公募で団体と連携して特別開催	1団体 Sharing Caring Culture	20名
令和4年度	親子のフリーゾーンを外国人親子向けに公募で団体と連携して開催。英語、やさしい日本語でのホームページ、ちらしを制作。	1団体 Sharing Caring Culture	30名
令和5年度	親子のフリーゾーンを外国人親子向けに公募で団体と連携して開催。英語、やさしい日本語でのホームページ、ちらし制作。	1団体 Sharing Caring Culture	21名
令和6年度	親子のフリーゾーンを外国人親子向けに公募で団体と連携して開催。英語、やさしい日本語でのホームページ制作。	1団体 Sharing Caring Culture	30名

ウ) アンケート指標（使命1～4事業系の総計）

通番	項目	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
1	来場者（参加者）満足度	91% (957/1046)	94% (1310/1392)	92% (1857/2009)	95% (1935/2043)	94% (1982/2089)
	【指標】平均80%以上（満足、やや満足と回答した割合） 【成果】5年間で平均94%（8041名／8579名）					
2	当館事業初参加者割合 （アンケート回答者数割合）	21% (222/1046)	24% (344/1411)	33% (583/1748)	33% (664/2040)	35% (745/2114)
	【指標】平均27.5%以上 【成果】5年間で平均30.6%（2558名／8359名）					

エ) 使命1の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
アートで子どもの情操や共感能力を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児、小学生とご家族が参加できる講座を年間50回開催。合計4,217名が参加。</li> <li>・夏休みに子ども向けの企画展「こどもぎやらりい2024」を実施。身体表現やアニメーション表現をする作家による映像、パフォーマンスの鑑賞、ワークショップ等の体験機会とした。横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの幻燈関連資料もあわせて展示し、当館ならではの展示となった。連携企画「ダンスラボ」もあり1,763名が参加。</li> <li>・横浜市芸術文化教育プラットフォームとして学校へのアウトリーチ3校開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自ら発見し、思い、考え、つくることの喜びを体験する機会となった。前年度よりも参加者数を増やしより多くの機会を提供した(3,581→4,217名)。</li> <li>・「こどもぎやらりい2024」は、からだを動かして作品と近い距離で出会える展示で、子どもたちが自ら発見したことをその場で表現することができた。作品を介して参加者同士のコミュニケーションを育む効果も得られた。</li> <li>・参加者の声として「家でできないことができる」「子どもが挑戦でき実現までスタッフが上手にサポートする環境の良さ」「集中力の高い子どもの一面が見られる」などがあり、プログラムや運営の細やかな工夫、のびのび活動しやすい環境づくりが奏功している。</li> </ul>	<p>当館のプログラムが子どもや家族に好評であるが、実際に情操や共感能力を高める効果、自立心を育むことにつながっているかの評価、調査ができていない。今後は、子どもたちの変化をとらえる指標をつくり、調査を検討。</p>
障がいのある方を対象とした事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもに向けた造形プログラム。個人単位で参加できる①「親子で造形ピクニック」と学校単位（個別支援級等）で参加できる②「学校のための造形プログラム」を開催。</li> <li>①は12回開催275名参加。</li> <li>②は10回開催258名参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の特性にあわせて静かに落ち着いて過ごせる時間をつくっている。リピーターが多い。障がいがある子どもたちが家と学校とは違う第三の居場所、障がいがある家族が交流する機会となっている。</li> <li>・学校のプログラムでは、教室とは違う広い場所で思う存分にやりたい創作ができ、貴重な体験になっているとは、参加学校の教員評価。図工が苦手な子が伸び伸びと絵を描き、普段一人で作業する子がみんなと関わるなど成長を感じるとのこと。</li> </ul>	<p>学校のためのプログラムは需要に対して供給があわない（参加10校/応募28校）。限られた人員、予算であるため同様のプログラムの数を増やすのは困難。申込や手法を検討したい。</p>

(2) 使命2 市内外に向けて、カメラ・写真コレクションを活かした映像分野の拠点となるとともに、現代のアートの発信拠点となる。また、多様な美術分野（新旧含めた多様な時代、平面・立体、版画や陶芸等の様々な技法等）への様々なアプローチを用意することで、美術に対する関心を喚起する機会を創出し、北部地域の文化活動人口（文化活動支援者も含む）の増加に貢献する。

ア) コレクションや企画展をより多くの方に知ってもらう取り組み

通番	項目	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
1	コレクション紹介 HP への来訪者数 目標令和3年度1,000、6年度1,200	—	—	4,852	5,583	4,896
2	広報実績の掲載合計数 (PRTIMES 転載含む)	326	281	325	553	651

\*R4より新ホームページに移行

イ) 多様な美術分野に様々なアプローチをつくる

通番	項目	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績
1	事業のメニューの分野数 (横浜市指定の美術の小分野) 目標 毎年小分野より 6 種以上	7	8	8	8	12

ウ) 企画展における美術専門誌や新聞の文化欄等の掲載実績

通番	年度	展覧会名	掲載
1	R2	あざみ野フォト・アニュアル 「とどまってみえるもの」	東京新聞 神奈川新聞
2	R3	あざみ野フォト・アニュアル 中井菜央 雪の刻	神奈川新聞 新潟日報
3	R3	あざみ野フォト・アニュアル 横浜市所蔵カメラ・写真コレ クション展 視る装置	神奈川新聞
4	R4	あざみ野コンテンポラリー vol. 13 CLOTH×OVER 糸と布 日常と生を綴る	神奈川新聞 月刊アートコレクターズ
5	R4	あざみ野フォト・アニュアル 潮田登久子 写真展 永遠のレッスン	朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、神奈川新聞 北海道新聞、ARTiT、IMA ONLINE ウィメンズ アクション ネットワーク、Aperture
6	R6	あざみ野コンテンポラリー vol. 15 SHIMURAbros 雲をつか んで虹を見た	朝日新聞、日本経済新聞
7	R6	あざみ野フォト・アニュアル 川崎祐 わたしの知らない場 所の名前	神奈川新聞、Artscape
8	R6	あざみ野フォト・アニュアル 横浜市所蔵カメラ・写真コレ クション展 眼の技法 色・ 空間・動きのイメージ	読売新聞

エ) 使命 2 の令和 6 年度実績、成果及び課題

項目	実績 (アウトプット)	成果 (アウトカム)	課題
横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>あざみ野フォト・アニュアルは、現代写真家の企画展「川崎祐 わたしの知らない場所の名前」とコレクション展「眼の技法 色・空間・動きのイメージ」あわせて 4561 名が来場。顧客満足度も平均 4.8 (5 点満点中)。(目標満足度 80%以上)</li> <li>近隣小学校 2 校で出張授業を行い、写真と俳句展を実施。在校の 5 年生 220 名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞掲載、カメラ専門 Youtuber の紹介もあった。一般の来場者に向けて毎週末関連イベントを開催し、様々な関心から入りやすい環境をつくった。結果として、質の高い展示は業界内でも高く評価された。</li> <li>アンケートでは、質と量のすばらしさ、展示物の貴重さ、気軽な見やすさ、知的好奇心の高まりが評価されている。</li> <li>写真と俳句は、子どもたちの表現の場をつくり、普段、家や学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コレクションをさらに発信し、より多くの市民に知ってもらおう。</li> <li>写真と俳句展は同様の内容で長年実施している。これに変化を加え、もっと地域を紹介しながら、子どもたちの表現を広げ</li> </ul>

	と共につくりあげた。	ではできない体験を提供した。 ・参加した子どもの家族など日頃ギャラリーと接点のない方の来場も得られた。	て街に残すようにしたい。
現代アートの発信拠点	・あざみ野コンテンポラリーは、地元横浜から世界に羽ばたき活躍するSHIMURABrosの企画展を実施、のべ4173名が来場。作家のこれまでの作品を振り返る図録も発行した。森山未来氏を招いた上映会+トークも好評で顧客満足度は平均4.65。(目標満足度80%以上)	・「映画」を制作の源泉とする映像作家という背景もありコレクションも活用した展示もされた。当館ならではの企画として新たな視覚表現の可能性が見え、意義深いものとなった。 ・アンケートでは、新たな視覚表現に触れたことへの感動、関連イベントから得る学び、知的好奇心の高まりなどが評価される。	・発信力の向上が課題で、広報や広告を強化し、関連イベントを増やす方向で検討している。
市民の皆さんが主体となって文化芸術活動に関わる取組	・講座にてデッサン、陶芸、水彩、路上観察、芸術学、ダーニング(編み物)、アトライティングなど、多様な美術分野に様々なアプローチを設ける機会をつくる。参加者延べ607名、顧客満足度平均4.71~4.85。(目標満足度80%以上)	・アトライティング講座では、終了後、参加者自らが講師に依頼して自主的に活動を始めるなど、まさに美術に対する関心の喚起に寄与した。 ・これまでよりも多様な講座を実施したことにより、当館にこれまで来ていなかった方が多数参加するきっかけとなった。アンケートでは、各講座への関心の高さが伺える。	・多様なプログラムを定期的にも多数実施するには、スタッフの専門性の高さや人数が必要となる。現状、広げられる量や範囲はこの条件で決まってしまう。

(3) 使命3 地域コミュニティが抱える課題に対して、文化芸術を通じたアプローチを行うことで、市民の皆さんがこうした課題に気づき、考えを深める契機を創出する。

ア) 領域を超えたジャンルとの協働から地域課題に気づききっかけを作る

通番	項目	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
1	協働する団体 目標令和3年度2団体以上、6年度4団体以上	0	5	5	7	9

イ) 地域がより住みやすくなるために何が課題かに気づく調査

■高齢者や認知症へのまちぐるみでのケア

地域の方が主体となって高齢者の方が住みやすい街を築いていく「やさしい街あざみ野実行委員会」に令和3年度から参画。住民、商店街、医療、福祉、大学、企業等の関係者と共に高齢者にやさしい街について考えることから、「アート+認知症やさしい美術鑑賞会」の企画を生み出すことができました。当館して誰もが美術鑑賞をできる機会を広げていくことと、生涯人間らしく生活する文化的権利を深めていくことを企図しましたが、それが地域の目指すやさしい街の取り組みに合致しました。結果として、参加された高齢者はもちろん、そのご家族や施設で働く人へのケアにもつながり、文化施設と様々な施設をつなぐ企画へと発展しています。サポーターとして参加してくださった方々にとっても、高齢者介護や認知症に気づきを得られる機会となりました。

■外国人の家族が参加しやすい情報発信

外国出身者の家族がそれぞれの頑張りや力を持ち寄って、共に海外での生活にチャレン

ジできる場を作りたいと設立されたNPO法人 Sharing Caring Culture。令和3年度からヒアリング、協働を通して、外国人家族が来場しやすい環境づくりに取り組みました。これをきっかけに、外国人親子に向けたプログラムをつくり、親子のフリーゾーンにおけるやさしい日本語と英語による案内をはじめることができました。この案内は、印刷物やホームページの恒常的な改善につながっています。

#### ウ) 参加者の変化

参加者のうち地域の課題について興味を持った、理解を深めた結果、自身への影響を「アート+認知症やさしい美術鑑賞会」の参加者の声より抜粋

- ・高齢化社会に向けた well-being を考えると、美術館にとっても、高齢者やその家族にとっても、国にとっても、幸せになれる仕組みだと思いました。
- ・認知症に対する知識と、アートとのかかわり、療法など。いろいろと視野が広がりました。
- ・実母の認知症軽減の実践から、対話型鑑賞の重要性、有効性は、理解しています。介護する人、される人が共に楽しく、それが介護者にとっても心安らかであることを広く知っていただく取り組みとして、とても参考になりました。地域に広げていく模索をしてみたいと思います。
- ・認知症の人との接し方や、どういう状態なのか知る、否定しないことが大事なんだと分かりました。
- ・人とのかかわりが大切なことを、今回の講演で感じました。
- ・丁寧な実践の多い研修を経て、ファシリテーションを実践させていただく機会は、貴重な学びの時間になりました。コミュニケーションのとり方の学び、対話・鑑賞を一緒にたのしむ場の力、参加者の様子から、この活動が続くといいなと思いました。
- ・母が認知症になって、という方が多く参加されるのを知ってよかった。私だけかと思っていたのに安心した。
- ・相手の存在を認めるユマニチュードのお話は、すごくためになりました。簡単そうに見えて、普段自分ではできていないことだと気づかされました。

#### エ) 専門家、実務者等による評価

「アート+認知症やさしい美術鑑賞会」で協働した専門家からの評価  
『アート+認知症やさしい美術鑑賞会 2022.5-2025.3 報告書』より要約)

##### ■参加施設の社会福祉士より

福祉や介護の相談を受ける施設として、高齢者や認知症の方々の外出機会の減少を懸念し、新たな社会交流の場として賛同しました。アートギャラリーという特別な空間でおしゃべりをし、作品を鑑賞しながら交流することで、参加者は新たな刺激を得ました。家族や本人からは「普段とは違う楽しみがあった」「多くの人と接し、いきいきしていた」などの声が寄せられ、2年目には近隣のグループホームも参加し、地域の輪が広がりました。横浜市の「チームオレンジ」の活動とも連携し、「アート+認知症」の理解を深めながら、誰もが気軽に参加できる場を広げていけると良いです。

##### ■参加施設の作業療法士より

認知症を患う通所利用者への美術鑑賞の影響を検証したところ、当初の懸念を覆し、非常にポジティブな結果が得られました。環境変化に敏感なメンバーも笑顔を見せ、閉じこもりがちな方々も鑑賞を通じて活発に交流しました。「絵が嫌い」としていた方も積極的に参加し、残存能力の発揮や前向きな行動につながりました。鑑賞会は社会性や興味関心の維持、介護者の休息にも寄与し、心身の活性化を促しました。また、若年性認知症患者にも交流の機会を提供し、認知症に対する偏見払拭にもつながりました。本取り組みを通じ、支援を受けながら今まで通りの生活を続けられる社会の必要性を再認識しています。

##### ■ゲスト講師より

「やさしい美術鑑賞」は、作品の解説ではなく、感じたことを自由に語り合うことでコミュニケーションを促す取り組みです。美術鑑賞に抵抗を感じる人でも参加しやすく、作

品を通じて人生の記憶や感情を表現する場となっています。鑑賞会では、参加者が過去の思い出を語ったり、家族の姿を重ねたりする様子が見られ、深い交流が生まれました。また、今世紀に入り欧米を中心に実践と研究が進み、継続的な鑑賞活動が参加者の意欲を引き出し、眠っていた身体機能の活性化にもつながることが報告されています。欧米ではアートの効果が科学的に証明されつつある一方で、日本の美術館では認知症の方への取り組みはまだ少ない状況です。「やさしい美術鑑賞」は地域と連携し、認知症当事者や家族を巻き込んだ先駆的な試みとして期待されており、今後の発展が注目されています。

■ゲスト講師より

本プログラムのようなものを推進するにあたり重要なポイントが3つあります。1つ目が地域の医療や福祉セクターとの連携。2つ目が対象を当事者だけでなく関係者（介護者と広くは周囲の人々）も含み、認知症への偏見などを解消していく研修等の取り組みを並行して行うこと。3つ目がこうした考えに基づく活動に市民が参加できる仕組みを作り、健康的なコミュニティを耕していくことです。この横浜市民ギャラリーあざみ野の活動もまさにそのポイントを押さえた活動になっており、今後の継続的な活動にも期待が高まります。

オ) 使命3の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
文化芸術を媒介として、分野を越えた協働により地域コミュニティの課題に向き合います	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アート＋認知症やさしい美術鑑賞会」の今年度はこれまでの当館での鑑賞会、講座に加え、外出が難しい方も鑑賞を楽しめるように施設を訪問する「&lt;いつもの場所で&gt;やさしい美術鑑賞会」を新たに開催。計4か所の福祉施設で利用者合わせたプログラムを実施。</li> <li>・ユマニチュードや社会的処方についての講座を実施</li> <li>・3年間の取り組みをまとめた報告書を発行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめて美術鑑賞する機会、何歳になっても文化的生活を過ごせる機会を増やすことができた。</li> <li>・認知症の当事者だけでなく地域全体で認知症について考える場を作ることができた。</li> <li>・参加の福祉施設から高齢者や認知症の貴重な外出となり、普段と違う場所に出かけ、アートを通じていろいろな人と話す機会となっている。家族にとっても良いという評価。</li> <li>・アンケートの意見より「親の介護と介護士の仕事で疲れ切っている中で参加キャンセルも検討したが、気持ちを切り替えて来た。目から鱗の内容だった。（「講座」参加者）」</li> <li>「参加者が何度も繰り返す話にも丁寧に対応して下さる現地職員。本当に優しい美術鑑賞だった。（連携施設スタッフ）」</li> </ul>	福祉施設の多数の利用者をギャラリーへ引率するのはリスクもあり労力もかかる。コロナ収束以降もインフルエンザなど感染症リスクは変わらない。今後はアウトリーチ中心で実施していくことになる。ただし、ギャラリーに来るという特別な時間、非日常の価値をどのように付加するのかは課題。

(4) 使命4 文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、かつ、地域の様々な資源を有機的に結び付け、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に貢献する。

5

ア) 新たなプログラムを通じて当館と関係が繋がった施設、団体と地域資源（目標各5件以上）

通番	開始年度	名称	内容
1	R2	アキュフェーズ株式会社	地元企業。オーディオ体験、講座の実施
2	R2	古河電工パワーシステムズ株式会社	地元企業。製造資材を活用したワークショップ 地域に観葉植物を広げる取り組み
3	R2	横浜市教育委員会	教師のためのアニメーションワークショップ アニメーションフェスティバル 学校のための造形プログラム
4	R2	横浜市立山内小学校	写真と俳句、学校運営協議会、各種相談
5	R2	あおば美術公募展実行委員会	展覧会共催、実行委員会参画
6	R2	青葉区民芸術祭	展覧会共催
7	R3	有限会社かなめ	地元企業、製造資材を活用したワークショップ
8	R3	NPO法人Sharing Caring Culture	外国人親子のためのフリーズーン
9	R3	神奈川県立麻生養護学校	職場体験受入れ
10	R3	フィリアホール 横浜市青葉区民文化センター	フェローアートギャラリーエクステンション
11	R3	みどりアートパーク 横浜市緑区民文化センター	よこはま縁結び講中の一環として
12	R3	横浜市歴史博物館 大塚・歳勝土遺跡	よこはま縁結び講中の一環として
13	R3	大倉山精神研究所	よこはま縁結び講中の一環として
14	R3	小机城のあるまちを愛する会	よこはま縁結び講中の一環として
15	R3	やさしい街あざみ野実行委員会	認知症や高齢者にやさしい街に共に取り組む
16	R4	荏田地域ケアプラザ	やさしい美術鑑賞会
17	R4	GrASP aoba 横浜北部	やさしい美術鑑賞会
18	R4	ゆい青葉	やさしい美術鑑賞会
19	R4	グランダあざみ野	やさしい美術鑑賞会
20	R4	慶應横浜初等部	写真と俳句
21	R5	神奈川県立市ヶ尾高校ダンス部	ロビー公演

#### イ) 地域資源情報の公開

よこはま縁結び講中の一環で、港北区、青葉区、都筑区、緑区の地域資源情報をホームページで公開（主催：主催：よこはま縁むすび講中実行委員会（横浜市歴史博物館、横浜市民ギャラリーあざみ野、緑区民文化センターみどりアートパーク、公益財団法人大倉精神文化研究所、小机城のあるまちを愛する会）協力：横浜メディアビジネス総合研究所（YMBL）、横浜市交通局、NPO法人森ノオト、横浜国立大学大原研究室）。「よこはま縁むすび講中」は、横浜北部（旧港北区4区：港北区、緑区、青葉区、都筑区）に存在する地域文化遺産と市民の皆さまをつなぐ取り組みです。文化・歴史・自然・産業・商業・公共施設・民間施設など、暮らしていても意外と知らない地域のことについて、知るきっかけになるようなイベントの実施や情報発信を行いました。

#### ウ) 使命4の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
地域の様々な担い手とつながる機会を作ります	・第4期指定管理期間に培ってきたネットワークを継続させながら、展示室、ロビー、館外のアウトリーチと様々な担い手と共に、展覧会やコンサート、マルシェ、ワークショップなどを行った。	・地域とのネットワークがあるからできることを様々なかたちで表すことで、横浜北部の市民を主体とした文化的な魅力、可能性を地域の方と共有することができた。  ・過去に取り組んだ「よこはま縁結び講中」が令和6年度地	・あざみ野駅ができてからあと数年で50年、施設ができてから来年度で20年、地域の成熟が進んでいる。社会や価値観の変化にあわせて、過去の取り組みから少しずつプログラムの内容を変えていき

	・横浜トリエンナーレ開催を記念して、現代美術のコレクターと共に展覧会を実施。美術に親しむ機会に。	域再生大賞で優秀賞を受賞。	い。
--	--	---------------	----

(5) 使命5 利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮し、北部地域の市民の皆さんに親しまれる施設となる。

ア) 貸館稼働率、新規利用登録団体数、満足度

通番	項目	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績
1	展示室1・2貸館利用率(日単位) (目標 97%以上)	46%	74.5%	89.25%	84%	96.5%
2	アトリエ貸館利用率(コマ単位) (目標 令和3年度52%、令和6年度55%)	36%	51%	54%	55%	48%
3	新規利用登録団体数 (目標 令和3年度+25件、令和6年度+50件)	11	26	42	33	40
4	利用者満足度 アンケート調査結果 (目標 90%以上)	—	89.5%	93%	89.3%	83.8%

イ) 専門職員の配置、育成

文化施設のマネジメント、現場経験を持つ館長、副館長。カメラ・写真コレクションの調査研究を行え、現代美術にも精通する専門性の高い学芸員。子どもから高齢者までケアの視点も含めて様々な方に向けたプログラムを作れる教育普及担当。来場者のサポートをする貸館担当、地元の担い手と多様なプログラムを組成した地域協働担当。これらを配置しながら新型コロナウイルスやその後の対応を通じて新たな時代にあわせたプログラムを展開できる人材を法人の人材マネジメントに基づく研修、現場のOJTを通じて育成。基盤となる広報、庶務、経理、労務の人員も確保しながら業務を進めました。

ウ) 使命5の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績(アウトプット)	成果(アウトカム)	課題
利用者へのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス拡大以降、展示室がはじめて96.5%と100%に近い稼働率を回復した。</li> <li>・情報誌「アートあざみ野」、当館ホームページ、ヨコハマアートナビ等により広報の支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの結果としてご利用の方の満足度は高く、またご利用したいという声を多くいただいている。 (ご利用者の声)</li> <li>・打ち合せ、搬入からとてもご丁寧に対応して頂きました。会場もとても美しく保たれ、スタッフの皆様の熱意と努力でこのような状態でお借り出来るのだと感動しました。</li> <li>・多くの方々に観賞頂き良かったです。今後も是非、開催したいと思います。 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエの利用率が低く、目標に到達していない。広報、営業、サービスなどを見直し、利用率を少しでも高めるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>

(6) 使命6 適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。予防的修繕にも着実に取り組む。

ア) 展示利用者へのアンケート調査「使い勝手や清潔さ」項目における評価

通番	項目	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績
1	アンケート結果 (5段階評価平均) (目標 4.7以上を維持)	—	4.88	4.66	4.94	4.87

イ) 防災への取り組み

(目標 1~2年目 近隣施設との連絡会を立ち上げ、情報や課題の共有を行う場を設ける  
3~4年目 地域施設で連携しての共同防災訓練を計画  
5年目 共同防災訓練を実施)

新型コロナウイルスへの対応しながら活動を止めずに実施するよう工夫して取り組んだ5年間でした。火事や地震に対しては年2回の防災訓練を男女共同参画推進センター横浜北と連携しながら進め、帰宅困難者一時滞在施設への仮想訓練も実施しています。

ウ) 施設の管理瑕疵に起因する事故数

0件

エ) 使命6の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績 (アウトプット)	成果 (アウトカム)	課題
維持保全・修繕について	・予算 160 万円に対して、約 400 万円の修繕を実施。法定点検として新たに定められた駐車場の泡消火器設備の保守点検の実施。また以前台風によって根から横たわってしまった樹木の伐採など、施設の安全面を強化するために、懸案だったものを行った。	・施設の管理瑕疵に起因する事故数0件の達成 ・施設の安全面の向上、法令順守を成す。	・泡消火器について点検結果として消化液の不適合判定があり、早急に対応が必要。設置者と協議しながら進める。 ・各室の電源スイッチを作動させる中央制御システムの不具合が1月より発生中。令和7年度前期の解決に向け、設置者と協議しながら進める。

## 7 令和6年度の決算

令和6年度 市民Gあざみ野会計 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	164,607,663	110,128	164,717,791	164,717,791	0	横浜市より(R6年度資金スライド分を含む)
利用料金収入	7,800,000	0	7,800,000	7,656,635	143,365	展示室・アトリエ利用料金(附帯設備利用料金含む)
自主事業収入	2,786,000	0	2,786,000	6,431,811	-3,645,811	
入場料・講座料・その他事業収入	2,786,000	0	2,786,000	3,319,200	-533,200	講座料等
助成金・協賛金収入	0	0	0	3,112,611	-3,112,611	文化庁受託2,612,611円、民間助成金500,000円
雑入	5,130,000	0	5,130,000	5,546,715	-416,715	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	650,000	0	650,000	747,200	-97,200	
物販等手数料	20,000	0	20,000	25,000	-5,000	お弁当やさん事業出店料等
駐車場利用料金収入	3,570,000	0	3,570,000	3,681,000	-111,000	収入をセンター北と折半
協賛金・助成金・負担金・寄附金	730,000	0	730,000	630,000	100,000	芸術文化教育プラットフォーム委託費
その他	0	0	0	309,373	-309,373	前年度繰越金
その他(センター北負担金等)	160,000	0	160,000	154,142	5,858	センター北と共用の事務機器等管理、Wi-Fi等の按分経費
横浜市補助金・負担金	0	0	0	0	0	
指定管理収支表積算外	0	0	0	0	0	
人件費調整額	0	0	0	0	0	
繰越金_退引増額対応	0	0	0	0	0	
収入合計	180,323,663	110,128	180,433,791	184,352,952	-3,919,161	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	77,946,000	110,128	78,056,128	79,109,832	-1,053,704	
給与・賞金	65,694,000	110,128	65,804,128	65,978,021	-173,893	職員(10名)、常勤アルバイト1名、事業補助アルバイト
社会保険料	8,074,000	0	8,074,000	8,665,364	-591,364	
通勤手当	1,758,000	0	1,758,000	1,896,224	-138,224	
健康診断費	32,000	0	32,000	46,501	-14,501	
勤労者福祉共済掛金	48,000	0	48,000	48,000	0	
退職給付引当金繰入額	2,340,000	0	2,340,000	2,475,722	-135,722	
事務費	3,272,663	0	3,272,663	3,462,856	-190,193	
旅費	40,000	0	40,000	196,243	-156,243	
消耗品費	475,663	0	475,663	298,049	177,614	
会議備い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	50,000	0	50,000	21,570	28,430	
通信費	610,000	0	610,000	603,740	6,260	
使用料及び賃借料	1,557,000	0	1,557,000	1,713,882	-156,882	
横浜市への支払分	127,000	0	127,000	125,874	1,126	行政目的外使用料(飲料自販機、アートプラザのお弁当やさん事業)
その他	1,430,000	0	1,430,000	1,588,008	-158,008	PC・プリンター・AED等リース、放送受信料、足ふきマットレンタル、セキュリティソフト・メイン等使用料等
備品購入費	0	0	0	159,500	-159,500	LANサーバー更新
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	90,000	0	90,000	95,098	-5,098	
職員等研修費	0	0	0	28,800	-28,800	
振込手数料	250,000	0	250,000	190,520	59,480	
リース料	0	0	0	0	0	
手数料	200,000	0	200,000	147,454	52,546	産業廃棄物処理、インターネットバンキング、アトリエ備品のクリーニング等。
地域協力費	0	0	0	0	0	
委託費	0	0	0	0	0	
広告宣伝費	0	0	0	0	0	
負担金、会費	0	0	0	2,000	-2,000	
雑支出	0	0	0	6,000	-6,000	
仕入	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
事業費	22,640,000	0	22,640,000	24,696,817	-2,056,817	
自主事業費	22,640,000	0	22,640,000	24,696,817	-2,056,817	
管理費	62,902,000	0	62,902,000	63,474,328	-572,328	
光熱水費	18,700,000	0	18,700,000	17,251,292	1,448,708	
電気料金	12,700,000	0	12,700,000	11,645,848	1,054,152	
ガス料金	4,000,000	0	4,000,000	3,704,666	295,334	
水道料金	2,000,000	0	2,000,000	1,900,778	99,222	
清掃費	0	0	0	0	0	建物総合管理契約に含むため「その他保全費」に計上
修繕費	1,607,000	0	1,607,000	4,064,969	-2,457,969	
機械整備費	180,000	0	180,000	174,900	5,100	
設備保全費	42,415,000	0	42,415,000	41,983,167	431,833	共用部はセンター北が契約し費用は折半
空調衛生設備保守	250,000	0	250,000	227,150	22,850	
消防設備保守	550,000	0	550,000	544,500	5,500	
電気設備保守	1,050,000	0	1,050,000	937,750	112,250	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	470,000	0	470,000	412,500	57,500	共用部:建物総合管理契約に含む、専有部:事業費に含む
その他保全費	40,095,000	0	40,095,000	39,861,267	233,733	清掃費、エレベーター保守管理(専有部)、収蔵庫空調 他 を含む
舞台技術費	0	0	0	0	0	
共益費	0	0	0	0	0	
公租公課	6,636,000	0	6,636,000	6,682,119	-46,119	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	6,559,000	0	6,559,000	6,572,497	-13,497	
印紙税	20,000	0	20,000	52,900	-32,900	
その他	57,000	0	57,000	56,722	278	
事務経費	6,927,000	0	6,927,000	6,927,000	0	
本部分	6,927,000	0	6,927,000	6,927,000	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
指定管理収支表 積算外	0	0	0	0	0	
人件費調整額	0	0	0	0	0	
特定資産取得支出	0	0	0	0	0	
支出合計	180,323,663	110,128	180,433,791	184,352,952	-3,919,161	
差引	0	0	0	0	0	